

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	吉田地区防災力向上及び公園整備
事業主体 (連絡先)	吉田地区 吉田支所 (0263-86-8611)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくり (1) 地域共働の推進
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,467,713円 (うち支援金: 3,259,000円)

事業内容

吉田地区防災力向上のため、よしだ防災公園の整備と、防災公園を拠点とした防災等に関する事業(イベント)を開催した。

- よしだ防災公園の整備
 - 防災倉庫、備蓄品、防災機材等自主防災用品の整備。
 - 収納ベンチ、かまどベンチ等の防災備品設置。
- 防災に関する事業(イベント)をよしだ防災公園で開催。
 - 吉田地区避難所運営委員会・防災会議・研修会(6/21)
 - 地区住民による防災倉庫の組立、設置作業(7/16)
 - 防災公園にて星空観察会(公民館主催)(8/19)
 - R4年度防災訓練の一時避難場所として利用(9/4)
 - 消防団広丘分団4部の消火栓放水訓練(10/16)
 - よしだ防災公園オープニング式(10/23)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 役員、地域住民参加による防災公園の整備作業を計画的に実施し(芝刈り作業4回、倉庫設置作業1回)住民による手づくりの公園となった。
- 防災備蓄倉庫、備蓄品、かまどベンチ等災害時の避難場所としての備えを整えた。
- 各種の事業(イベント)を開催し、防災公園として吉田住民に認知された。10/23のよしだ防災公園のオープニング式には430名の来場者があった。
- 災害だけでなく、消火栓放水訓練、幼稚園児の遠足とか吉田住民の憩いの場所として活用された。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 今後、公園の維持管理(芝生整備、除草対策)が必要で、住民参加による管理体制を構築し、きれいで使い易い公園を目指し公園整備を実施していく。
- よしだ防災公園を使った防災関係の事業(イベント)を毎年計画していく。
 - 防災会議・避難所運営委員会。
 - 防災訓練の避難場所として活用。
 - 全区民対象の防災関係の事業(イベント)の開催。(ふれあいまつり等の共同開催等)
- 防災公園としての利用だけでなく、平時でも吉田住民の憩いの場所として利用を促進する。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【活動写真】



【地区住民による防災倉庫の組立、設置作業:7/16】

【目標・ねらい】

- 子育て支援センター跡地の利活用。
- 防災体制・防災力強化。
- 地域住民協働の推進。(地域住民参加による公園整備)
- 広い世代間で交流できる憩いの場所・公園づくり。

※自己評価【 A 】

【理由】

- 住民参加、手作りによる公園整備が計画的にできた。
- よしだ防災公園を拠点とした事業(イベント)が多種多数開催できた。特によしだ防災公園オープニング式には430名の来場者があった。